

2021年米国株見通し

2021年1月19日



※ 2021年3月8日付で商号を「PayPayアセットマネジメント株式会社」に変更する予定です。

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第387号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

2021年米国株見通し：上昇基調が継続

＜2020年の米国株動向＞



2020年レビュー

- ◆ 新型コロナウイルスのパンデミックにより米国株は2月以降急落
- ◆ VIX指数は一時80台まで上昇
- ◆ 緊急金融緩和と経済対策で株価底入れ、安値から+68%の反騰
- ◆ 感染再拡大や大統領選前の不透明感から調整する局面も
- ◆ ワクチン実用化への期待から年末にかけて過去最高値を更新

2021年見通し：＜リスク選好地合いが続いて株価は堅調推移＞

- 金融緩和長期化による低金利環境の継続
- 大型経済対策による景気下支え
- 新型コロナウイルスワクチン普及に伴う感染収束

◆ポジティブ要因

- ◆ ワクチン普及/治療薬開発による感染抑制
- ◆ 感染抑制/行動規制の緩和による景気見通し改善
- ◆ 強力な金融緩和策の長期化
- ◆ 大規模な経済対策による景気下支え
- ◆ 企業業績の底入れ

◆ネガティブ要因

- ◆ 想定を下回るワクチンの普及/治療薬開発遅延
- ◆ 変異種ウイルスの拡散
- ◆ 金利急騰リスク（財政収支悪化/景気上振れ/期待インフレ率上昇などがもたらす想定外の金利上昇）
- ◆ 米中对立など地政学リスク/国内政治の混乱
- ◆ 割高感高まる株価バリュエーション

株価下落をもたらす潜在的サプライズ

コロナ関連リスク	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 新型コロナウイルスワクチンの生産、流通、有効性 ✓ ワクチン普及速度と感染抑制効果の失望 ✓ 治療薬開発遅延や新たな変異種
金利上昇リスク	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 想定以上の早期回復/金融緩和見直し ✓ 財政収支の悪化 ✓ 期待インフレ率の上振れ
バイデン新政権リスク	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 積極財政による赤字拡大 ✓ 大手IT企業への規制強化や法人税率の引き上げ ✓ 香港、ウイグルなどの人権問題を軸とした対中関係悪化
信用リスク	<ul style="list-style-type: none"> ✓ コロナ禍による新興国の債務不履行 ✓ 個人・企業の破たんリスクと金融システムへの影響 ✓ 信用スプレッドの拡大

VIX指数は値動きの荒い展開を示唆



〔掲載期間：2009年12月25日～2021年1月15日、週次ベース〕

＜VIX指数の動向＞

- VIX指数は3月のコロナショック時ピークの**80台**から低下
- 足元では過去10年平均値（17.3）*を上回り、**チャイナショック時と同等の水準**で高止まり
*2011年1月～2021年1月15日の週次終値平均
- オプション市場のインプライド・ボラティリティ高止まりは、**変動性が高い相場動向を示唆**

当資料のお取り扱いに関する留意事項、使用している指数等について

当資料は情報提供を目的としてアストマックス投信投資顧問株式会社※が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は当社が信頼できると判断した情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中に記載した内容、数値、図表等は、当資料作成時点のものであり、今後、予告なく変更することがあります。当資料で使用している各指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資成果を示唆ないし保証するものではありません。

※2021年3月8日付で商号を「PayPayアセットマネジメント株式会社」に変更する予定です。

使用している指数は以下の通りです。（すべて現地通貨建て）

S&P500：S&P500種株価指数

VIX指数：CBOE S&P500ボラティリティ・インデックス

出所：ブルームバーグ